

国際業務の 窓辺から

CLAIR 経験者からの
メッセージ



新鮮で濃い3年間

岐阜県都市建築部都市公園・交通局都市公園課 萩ノ脇 彩子

3年間を通じて

クレアで得られた経験—それは、日本各地だけでなく、各国から集まっている同僚と1つのプロジェクトを分担して働く中で、さまざまな意見や仕事の進め方があることを知れたことです。また、JET 経験者の同僚からは、日本で経験したことや熱い想いを聞くことができ、日本の魅力を感じることができました。さらに、ロンドンに赴任してからは、言語の壁も感じましたが、イギリスへの関心が高まり、学ぶことは多かったと考えています。

JET プログラム事業部での1年目

1年目は、多くの JET 経験者を同僚に持つことができました。私は、JET プログラムの来日直後オリエンテーションにおいて、会場などの連絡調整や当日の運営を担当したのですが、多岐にわたる調整を乗り越えての当日の運営では、同僚との一体感を感じることができました。突発的な事態に対しても素早く対応でき、素晴らしいチームワークだったと思います。今でも楽しかった思い出として記憶に残っています。



来日直後オリエンテーションの様子

ロンドン事務所での2年間

渡英してからは、ロックダウンの期間もありました。その中で苦労したのは、ローカルスタッフと英語でオンラインミーティングをしながら、セミナーを開催することでした。英会話で内容を十分に理解できなかった際は、メールなどで確認しながら業務を進めました。それでもセミナーの参加者数が目標を超えた際には皆で喜び合ったことや、いろいろな相談をしながら業務を進めていくことは、忘れがたい思い出です。

イギリスでの生活で印象深かったことは、チャリティ活動が活発だったことです。当時、NHS（国民保健サービス）が急増するコロナ患者の受け入れで逼迫する中、100歳になろうとするムーア氏が誕生日までに自宅の庭を100周することを宣言し、医療従事者などのために寄付金を募りました。歩行補助器で歩く彼の姿に国民が心を動かされ、目標をはるかに超える約3,300万ポンドもの寄付が集まりました。コロナ禍の暗い雰囲気の中で、イギリス国民の気持ちを明るくしたニュースでした。これに限らず、チャリティの取り組みはテレビでも頻りに紹介されました。個人の力で社会を変えようとする勇気ある取り組みを知ったことをきっかけとして、イギリス社会への関心が高まりました。

帰国してから

ロンドンでは公園で過ごすことが多く、公園の必要性を感じました。現在は、都市公園の運営管理や公園を通じた国際交



ロンドンの公園：丸太の上で休む人々

流業務を担当しています。これまで困難を感じた経験も今となっては懐かしく楽しかった思い出として記憶に残っているため、今後もさまざまなことに前向きに取り組んでいきたいと思っています。

最後に、かけがえのない時間を共にしたクレアの仲間にはとても感謝しています。これからもつながりを大切にしていきたいです。

プロフィール・ほか

●クレア在勤時の所属：
2019年4月～2020年3月 JET プログラム事業部
2020年4月～2022年3月 ロンドン事務所
2022年4月～ 現職